

ICT 機器の活用

五年生の取組から
(R3 学校だより 6月号より)

「ICT 機器の活用」は、本年度の学力の向上の 6 番目の柱に挙げられています。
教科の特性に応じて効果的に活用し、①情報活用能力の育成を図ること、②発達段階に応じて児童自身が適切に活用すること、③コンピュータ・リテラシーを身に付けること、を目指しています。

電子黒板



教室の黒板の半分はスクリーンがあり、電子黒板で授業が進められています。

音声・映像などさまざまな情報を得ることができます。

社会の学習で、孺恋村の土地利用の図を読み取って、授業を進めています。教科書の小さな図も大きく映し出され、気付きを共有することができます。

GIGA タブレット

5月21日に一人一台タブレットを配布しました。文房具の一つとしてさまざまな場面で活用していきます。

☆タブレットがやってきた!

自分の名前のシールの貼られたタブレットを初めて起動させました。
ID やパスワードを打ち込むと、画面に自分の名前が出てきました。
「自分のタブレットだ。」という認識が高まりました。

キーボードの取り外しを体験しました。
マグネット式なのですが、その力加減にドキドキしました。



☆ペンまーるを使ってみた!



漢字の書き取り・筆順の確認ができます。
計算などは自分のペースで取り組むことができます。理科や社会などのページもあり、習熟を図ることができます。

算数の体積の学習をしています。ちょっとした時間にも自分のペースでどんどん進められ、その結果を記録していくことができます。

☆ロイロノートを使ってみた!

テキストに意見を書き込み、みんなの考えを前のスクリーンに映し出して共有することができます。書き込みはペンでもキーボードでもできます。

理科の種子の発芽条件について考えました。自分の考えが前のスクリーンに出ると、友達の考えとすぐ見比べることができます。

